



米国アカデミー賞短編アニメーション受賞作家 加藤久仁生展開催

9月10日、現代美術館で加藤久仁生さんの企画展「静かに温かい、ひとかけらの物語。」が開催されました。加藤さんは、平成21年に短編アニメーション映画「つみきのいえ」で米国アカデミー賞短編アニメーション賞を獲得したアニメーション作家です。本展では、つみきのいえが生まれるきっかけとなったスケッチや絵コンテ、絵本の原画などを展示。平成24年1月9日まで開催され、期間中ワークショップなども行われます。



企画展は加藤さんの温かい世界観を楽しめます

十和田産野菜のおいしさを伝える 十和田おいらせミネラル野菜を試食

9月8日、市内のレストランで「アカデミックレストラン〜“おいしい十和田”は土づくりから〜」が開催されました。野菜ソムリエなど34人の参加者は、ごぼうや長いも、ねぎなどの十和田おいらせミネラル野菜を生で味わい、予想以上のみずみずしさと甘さに驚いていました。また、十和田産の野菜などをPRする十和田版アクティブ野菜ソムリエ（通称“おいしい十和田ソムリエ”）として5人に委嘱状が交付されました。



おいしい十和田ソムリエの5人がお披露目されました

十和田市の風土を知り、魅力を再発見！ きみがらスリッパ作り体験

9月7日、三本木中学校（上明戸茂校長）の1年生9人が校外学習として、市役所できみがらスリッパ作りを体験しました。体験はきみがらスリッパ生産組合のかたの指導のもと行われ、スリッパの足の甲の部分を作ります。伝統工芸品を作りたいと体験に参加した宮佳澄さんは「簡単に見えたけど、実際に作って見たら両手を使って編み込んで行くので難しかったです」と、話していました。



ベテランのかたに教わり、一生懸命取り組んでいました

道の駅とわだ開設10周年記念 3on3バスケットボール大会

8月28日、道の駅とわだで開設10周年を記念し、3on3バスケットボール大会 in とわだぴあが開催されました。競技は、小学生から社会人のフリーブロックと小学生ブロックに分かれて争われ、選手らは、激しくぶつかりあうなど熱い戦いを繰り広げていました。また、プロで活躍するおいらせ町出身の北向由樹さんがゲストとして出場。対戦した小学生チームは、北向さんからボールを奪おうと果敢に立ち向かっていました。



3on3の大会は十和田市で初の開催。17チームが熱戦を繰り広げました

昔ながらの盆踊りを楽しむ 三本木小唄マイケルナイト

8月27日、アート広場で三本木小唄マイケルナイトが開催され、浴衣姿の市民で賑わいました。このイベントは、現代美術館で開催されたマイケル・リンさんの展覧会の最後を飾るもので、参加者はマイケル・リンさんがデザインしたうちわを手に、三本木小唄にあわせて輪になって踊りました。また、盆踊りの合間には南町内会による太鼓の演奏などが行われ、参加者は夏ならではの催しを楽しんでいました。



うちわを手に、優雅に踊る浴衣姿の参加者

十和田市小学生相撲チームが大健闘！ わんぱく相撲全国大会で準優勝

7月31日、東京両国国技館で第27回わんぱく相撲全国大会が行われ、市の小学生チームが団体の部で過去最高の準優勝を遂げました。メンバーは下村湧偉くん（南小・4年）、久保田龍くん（大不動小・5年）、山内康くん（南小・6年）の3人。個人の部では4年生の部で下村くんが優勝、6年生の部で山内くんが準優勝に輝きました。山内くんは「満足のいく取り組みができた。今後も稽古に励みたい」と話していました。



獲得したトロフィーを前にして（写真左から）下村くん、山内くん、久保田くん

Pick up

防災体制の強化と意識の向上を図る 青森県総合防災訓練を実施

8月27日、中央公園緑地周辺で平成23年度青森県総合防災訓練が行われました。この防災訓練は、防災体制の強化と地域住民の防災意識の向上を図ることを目的に県などが開催したものです。十和田市付近を震源とするマグニチュード7.3の直下型地震が発生し、市では震度6強を観測、建物の倒壊や火災、ライフラインへの被害などを想定し、さまざまな訓練が行われました。

総合体育センターでは県と市が災害対策本部を設置し、非常通信訓練などを行いました。また、官庁街通りでは、停電による車4台の衝突事故を再現。中央病院では火災を想定。中央駐車場では、倒壊した建物や土砂崩れによる瓦礫を再現し、それぞれ、消防隊員や警察、災害派遣医療チームなど県内の関係機関が連携して負傷者の救助救出訓練を行いました。

中央公園緑地では、関係機関によるライフライン応急復旧訓練や市連合防災会などがバケツリレーによる初期消火訓練を行ったほか、煙体験ハウスや野外入浴セット、地震の揺れを体験できる起震車などが展示されました。会場には多くの市民が訪れ、防災に対する関心を深めていました。



1 2 多重事故による負傷者の救助救出訓練。消防隊員らが連携し、迅速に対応しました。
3 中央公園緑地に設置された起震車は子どもたちの注目を集めていました。